

緊急・特別プログラム!!

<原発被災に取り組む日本の最先端高分子科学技術>

【趣旨】 3月11日の東日本大震災・津波に起因する東京電力福島第一原子力発電所事故は大量の放射性物質の漏出を伴い、極めて深刻な事態となっております。本プログラムは、状況の正しい理解と我が国の最先端高分子科学技術を駆使した原発被災への取り組み紹介し、高分子学会としてどの様にしてこの問題解決に貢献していくかを議論することを目的に緊急に企画致しました。

主催 社団法人高分子学会
日時 5月25日(水) 10:00~12:15
会場 大阪国際会議場 10F 1003 会議室
参加費 無料
参加資格 どなたでもご聴講いただけます
参加方法 直接会場へお越しください

挨拶

10:00~10:05 「総合司会」宮田 清蔵 (東工大 特任教授、元東京農工大学学長)

講演

<座長: 明石 満 (阪大院工 応用化学)>

10:05~10:45 「福島第一原子力発電所事故と放射性物質の流失」

山口 彰 (阪大院工 環境・エネルギー工学)

概要: 福島第一原子力発電所事故と大量の放射性物質の漏失の現状についてNHKニュースで解説にあたった専門家から、直接ご説明いただく。

<座長: 大石 好行 (岩手大工 応用化学)>

10:45~11:05 「福島市の放射性元素と、高分子を用いた除去の試み」

金澤 等 (福島大 共生システム理工)

概要: 福島第一原子力発電所の爆発では放射性物質が地上に降下したと言われる。放射線量を実測した結果を示し現在の状況を紹介する。講演では、これまでの経過と問題点を指摘し、放射性セシウムの残留が問題であることに言及し、また、「放射性元素の除去機能をもつ高分子材料の設計」、安定な同位体さらにキャンパス内に大量に存在する実際の放射性元素を用いた研究計画を述べる。

<座長: 山中 弘次 (オルガノ)>

11:05~11:25 「放射性物質の分離と高分子材料の役割」

谷岡 明彦 (高分子と水・分離に関する研究会運営委員、
東大院理工 有機・高分子物質)

概要: 水中の放射性物質の分離・除去に利用可能な高分子材料を中心に空気中や土中の放射性物質の分離除去、さらには放射能防護服等に必要の高分子材について述べると共に、水に関する風評被害に対する対応についても講演する。

<座長: 辺見 昌弘 (東レ)>

11:25~11:45 「有機系吸着剤を用いての汚染水中の放射性物質除去」

木田 敏之 (阪大院工 応用化学)

概要: 汚染水中に含まれる放射性物質を効果的に除去・回収できる吸着剤の開発が急務となっている。本講演では、これまでに報告されたヨウ素やセシウムに対する吸着剤、特に有機系吸着剤を中心に紹介し、それらが汚染水中の放射性ヨウ素やセシウムの除去・回収に効果を発揮するかどうか、分子認識の観点からその可能性について述べる。

パネル討論

11:45~12:15 宮田清蔵、講演者4名